



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名  
コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柏木 康全  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 コーポレート管理本部長 (氏名) 仁科 圭右 TEL 026-285-4101  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	124,370	2.8	706	△14.3	945	△16.4	529	△22.7
2023年3月期第2四半期	120,929	4.4	824	14.1	1,130	14.7	685	19.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 898百万円 (11.6%) 2023年3月期第2四半期 804百万円 (61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	23.94	—
2023年3月期第2四半期	31.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,465	24,991	36.8
2023年3月期	55,376	24,548	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 24,443百万円 2023年3月期 23,905百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.00	—	17.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	1.3	1,700	0.9	2,150	△5.1	1,200	△4.8	54.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	23,121,000株	2023年3月期	23,121,000株
2024年3月期2Q	989,387株	2023年3月期	1,017,597株
2024年3月期2Q	22,117,494株	2023年3月期2Q	22,099,695株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和により社会経済活動が正常化に向かう一方、エネルギーコストや原材料価格の高止まりと円安の進行に伴う物価上昇や、世界的な金融引締めによる景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、相次ぐ値上げの影響による消費マインドの低迷や、物流費や水道光熱費等のさらなる増加など、依然として厳しい経営環境が継続しております。

こうした環境の中、当社グループは2030年度をゴールとする中長期的な経営ビジョンに「地域のスペシャルパートナー」を掲げ、当社グループの独自機能の提供とステークホルダーとの協業を通じて、日本全国の地域における食品流通の問題・課題を共に解決し、共に成長することを目指してまいります。ビジョンの達成に向け、2025年度を目標年度とする「中期経営計画2025」を策定し、3つの事業領域において必要とされる存在になることを到達すべきステージと位置付け、企業価値の向上を目指しております。具体的な5つの経営戦略としまして「多面的・多角的な事業インフラの拡充」「信州事業の再強化・グループ最適化」「非効率事業・資産の見直し」「業務構造改革の推進」「サステナブル経営の取組み」を掲げ、各施策を推進しております。また、経営戦略の推進を下支えする組織運営方針に「エンゲージメント経営の実践」「連結経営の推進」「ガバナンス体制の強化」を掲げ、具現化に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は商品の仕入価格上昇に伴う販売単価の上昇や、外食・観光需要の回復等により1,243億70百万円（前年同期比2.8%増）となりました。利益面につきましては、水産物や畜産物の相場高や相次ぐ商品の値上げが継続する中、物価高に伴う消費者の低価格志向に加え、物流費等の上昇により収益が低下したことから営業利益7億6百万円（同14.3%減）、経常利益9億45百万円（同16.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億29百万円（同22.7%減）となりました。

#### [セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

#### <水産事業セグメント>

水産部門は恒常化する国内天然魚の水揚げ量減少及び小型化傾向に対し、産地駐在による調達機能の強化と販売チャネル拡大による販売シェアの拡大を推進しております。一方、国内養殖魚は川上領域にグループ企業の戦略投資により事業体制強化を図り、国内水産物の付加価値化を進めております。デイリー部門は自社開発商品の構成比拡大と、ドラッグストア等への対応強化を推進し、収益の安定化を図っております。フードサービス部門は多様化する小売店頭及び業務用マーケットからのニーズに対し、水産及び畜産原料の惣菜商品の強化を進めております。

売上高につきましては、相場高に伴う販売単価の上昇と業務筋の需要回復もあり719億1百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益率の減少と販売管理費の増加等により、営業利益は2億3百万円（同58.9%減）となりました。

#### <一般食品事業セグメント>

相次ぐ商品の値上げによる消費者の生活防衛意識が高まり買上点数が減少するなど、厳しい事業環境が継続する中、信州域内（長野・山梨エリア）における卸売機能強化と、県外におけるメーカーポジションに立った自社開発商品の販売戦略により、強固な事業構造の構築を推進しております。

売上高につきましては、観光需要の回復や商品の値上げに伴う販売単価の上昇もあり142億57百万円（前年同期比0.7%増）となりました。利益面につきましては、販売管理費は増加したものの、売上総利益の増加もあり、営業損失は1億32百万円（前年同期は1億77百万円の営業損失）となりました。

#### <畜産事業セグメント>

国産豚枝肉相場が高騰するなど畜産物の高値傾向が継続する中、当社グループの商品調達力と流通加工機能を活かした販売シェアの拡大と、業務用マーケット向けの商品開発や長野県産商品の販路拡大を推進しております。

売上高につきましては、相場高に伴う販売単価の上昇と業務筋への販売が回復傾向にあることから208億94百万円（前年同期比3.5%増）となりました。利益面につきましては、国産豚の相場高騰分の販売価格への転嫁が遅れたことや、調達・販売コストの上昇など販売管理費の増加により、営業利益は1億37百万円（同31.7%減）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

2024年度を目途とする当社と(株)丸水長野県水との本質的な統合に向け、統合委員会を中心に検討を進めており、グループ内の経営資源の集約化による信州事業の再強化とグループ最適化の実現を図ることで、更なる強固な経営体制への変革を目指しております。

売上高につきましては、各事業の販売が堅調に推移したことから168億1百万円（前年同期比7.0%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加と、年金資産運用における退職給付費用の一時的な減少により、営業利益は4億9百万円（同70.4%増）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、売上高は5億15百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は87百万円（同37.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は664億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して110億89百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が77億82百万円、商品及び製品が16億64百万円増加したことによります。

負債は414億74百万円となり、前連結会計年度末と比較して106億46百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が100億66百万円増加したことによります。

純資産合計は249億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億42百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から36.8%に減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は76億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億36百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は12億19百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は21億12百万円）。これは主に、税金等調整前四半期純利益が9億14百万円、減価償却費が3億10百万円となり、売上債権・棚卸資産・仕入債務等からなる運転資本が3億96百万円増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は8億23百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は5億16百万円）。これは主に、無形固定資産の取得による支出が2億67百万円、有形固定資産の取得による支出が5億79百万円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は5億32百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は6億41百万円）。これは主に、長期借入金の返済による支出が1億45百万円、リース債務の返済による支出が73百万円、配当金の支払額が3億76百万円となったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年5月11日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,767	7,652
受取手形及び売掛金	19,137	26,919
商品及び製品	7,683	9,347
仕掛品	28	601
原材料及び貯蔵品	240	232
その他	2,462	2,733
貸倒引当金	△22	△31
流動資産合計	37,296	47,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,671	2,635
土地	6,539	6,539
その他(純額)	1,210	1,519
有形固定資産合計	10,422	10,695
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,477	2,675
その他	204	238
無形固定資産合計	2,682	2,913
投資その他の資産		
投資有価証券	2,921	3,345
退職給付に係る資産	208	251
その他	1,968	2,083
貸倒引当金	△124	△279
投資その他の資産合計	4,974	5,400
固定資産合計	18,079	19,010
資産合計	55,376	66,465
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,726	32,793
短期借入金	1,200	1,595
1年内返済予定の長期借入金	289	179
未払法人税等	480	285
賞与引当金	609	611
その他	3,741	3,989
流動負債合計	29,048	39,454
固定負債		
長期借入金	42	385
役員株式給付引当金	84	77
債務保証損失引当金	44	44
退職給付に係る負債	666	631
資産除去債務	108	111
その他	833	770
固定負債合計	1,779	2,019
負債合計	30,827	41,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,388	3,390
利益剰余金	17,484	17,636
自己株式	△1,097	△1,069
株主資本合計	23,495	23,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601	942
退職給付に係る調整累計額	△191	△176
その他の包括利益累計額合計	409	766
非支配株主持分	643	547
純資産合計	24,548	24,991
負債純資産合計	55,376	66,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	120,929	124,370
売上原価	110,955	114,134
売上総利益	9,974	10,235
販売費及び一般管理費	9,150	9,529
営業利益	824	706
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	72	68
受取賃貸料	102	104
その他	142	91
営業外収益合計	318	265
営業外費用		
支払利息	6	8
持分法による投資損失	—	7
固定資産除却損	3	4
その他	2	6
営業外費用合計	11	26
経常利益	1,130	945
特別利益		
負ののれん発生益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
減損損失	—	33
段階取得に係る差損	—	7
特別損失合計	—	40
税金等調整前四半期純利益	1,130	914
法人税、住民税及び事業税	456	302
法人税等調整額	△50	70
法人税等合計	406	373
四半期純利益	724	541
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	685	529



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	724	541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	341
退職給付に係る調整額	20	14
その他の包括利益合計	80	356
四半期包括利益	804	898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	765	886
非支配株主に係る四半期包括利益	39	12

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,130	914
減価償却費	316	310
減損損失	—	33
固定資産除却損	3	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7	△14
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	12	△42
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	18	20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	164
受取利息及び受取配当金	△73	△69
支払利息	6	8
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,234	△8,000
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,352	△1,670
仕入債務の増減額(△は減少)	596	10,066
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△138	△266
その他の負債の増減額(△は減少)	19	211
その他	△7	12
小計	△1,698	1,686
利息及び配当金の受取額	72	68
利息の支払額	△6	△8
法人税等の支払額	△481	△534
法人税等の還付額	1	7
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,112</b>	<b>1,219</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△156	△579
有形固定資産の売却による収入	5	0
有形固定資産の除却による支出	△1	△5
無形固定資産の取得による支出	△334	△267
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	42
貸付金の回収による収入	18	5
定期預金の預入による支出	△24	△22
その他	△13	11
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△516</b>	<b>△823</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	50
長期借入れによる収入	—	180
長期借入金の返済による支出	△159	△145
リース債務の返済による支出	△90	△73
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△332	△376
非支配株主への配当金の支払額	△42	△23
その他	△17	△143
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△641</b>	<b>△532</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,270	△136
現金及び現金同等物の期首残高	8,925	7,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,654	7,602

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	70,411	14,159	20,177	15,703	120,451	477	120,929	—	120,929
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	70,411	14,159	20,177	15,703	120,451	477	120,929	—	120,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	443	71	788	103	1,407	1,634	3,041	△3,041	—
計	70,855	14,230	20,965	15,807	121,858	2,112	123,971	△3,041	120,929
セグメント利益又は 損失(△)	496	△177	201	240	760	64	824	—	824

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、  
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	71,901	14,257	20,894	16,801	123,854	515	124,370	—	124,370
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	71,901	14,257	20,894	16,801	123,854	515	124,370	—	124,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	488	78	882	144	1,594	1,615	3,209	△3,209	—
計	72,389	14,335	21,776	16,946	125,448	2,131	127,580	△3,209	124,370
セグメント利益又は 損失(△)	203	△132	137	409	618	87	706	—	706

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、  
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。